

太陽に向かって突き進め!

外町小学校 五年 佐々木 望

夏の太陽は、キラキラと私達を照らしている。その、キラキラした太陽の方を向いて、大輪の花を咲かせるヒマワリ。まるで、太陽とヒマワリがにらめっこをしているかのように感じる。

小学三年生の時、理科の授業の一つで、学校の中庭にヒマワリの種を植えた。私は、花の中でもヒマワリが一番好きだ。なぜかと

いうと、暑い中でも大きな花を咲かせるところが、まるで、みんなに元気を与えてくれるように感じるからだ。だから、中庭にたくさんのヒマワリが咲くことを想像すると、早く咲いてほしくてたまらなかつた。日に日に大きくなつていくヒマワリだ。だが、きれいな花を咲かせたヒマワリもあれば、咲ききれずに成長が止まつたヒマワリもあった。花が咲いたヒマワリは、太陽の方を向いていて、光輝いている姿が、正に、自信に満ちあふれた

ように感じた。

私は、ヒマワリを見ていると元気になれるし、優しい気持ちになれる。だから、私は、

「私も、ヒマワリのようになりたい！」

と、ずつと心の中で思っている。私はヒマワリを尊敬している。ヒマワリは、皆に元気を与えてくれるからだ。雨で太陽が出ていない時は、長い茎が下を向き、大きな花も地面を見ていろ。でも、太陽がサンサンと輝けば、長い茎が背伸びをするようにグーッと起き上

がり、太陽とにらめっこを始める。

「太陽とにらめっこって、どんな気持ちなんだらう。私も、ヒマワリになつてみたい。太陽の方を向いて咲くヒマワリの気持ちって、どんな気持ちだらう。」

と、ぎ問に思った。

今年の夏は、昨年よりさらに暑くなり、三十五度をこえることも多い。外で遊ぼうと思っても、太陽がギラギラと照らし続けるので暑くて遊ぶのもためらってしまっほどだ。で

も、ヒマワリは元気に咲いていて、私に元気をくれる。優しい気持ちを与えてくれる。そんなヒマワリを見ていると、私も頑張らなきゃいけないなあと、考えさせられる。将来の夢という大きな目標を達成出来るように、身近なことから頑張っていていこうと思う。大きな目標に向かって、夏の太陽に突き進むヒマワリのように頑張ろうと思う。そして、沢山の人の心を和ませるような、優しい気持ちのある大人になりたい。今から楽しみだ。